

橋本左内

天保五年（一八三四）三月十一日現在の福井藩奥外科医（藩医）の長男として生まれる。名は綱紀、通称を左内とし、号を景岳とされた。安政六年（一八五九）十月七日斬首の刑に処せられた。享年二十六。十五歳の時、偉人英傑の言行や精神を学び『啓発録』を著した。その内容は、「去稚心」「振気」「立志」「勉学」「折交友」の五つの項目を立てて、少年にして学問を志す者の為に、入門の手引として作られた書である。

神武天皇祭（三日月）

昭和の日（二十九日）

皇霊殿と畝傍山東北陵（奈良県橿原市）で行われ、神武天皇の御霊をおまつりします。明治三十四年に昭和天皇がお生まれになられた日で天皇のご遺徳を偲び祝日となりました。

志を立つ

神道知識への誘ひ「氏神と産土神」

日本全国の神社には、さまざまな神さまが祀られています。その中でも「氏神」と呼ばれる神さまは、とりわけ私たちの日常生活に関わりの深い神さまといえるでしょう。氏神とは、もともと古代社会において血縁的な関係にあった一族がお祀りした神さま（一族の祖先神あるいは守護神）をいいました。しかし、中世においては土地の神さま、つまり鎮守の神さまである産土神（産土とは生まれた土地という意味で、その土地を守護してくださる神さま）ですが、氏神と混同されるようになり

橋本左内

ました。

現在では氏族と関係なしに、住んでいるところの祭祀圏内である神社を氏神社としています。

住まいのところが氏神社を調べるには、その土地に古くからお住まいの方、町内会や自治会の会長やご年配の方にお聞きになってみてください。

また、東京都神社庁のホームページで都内のお近くの神社を、地図上やキーワードで検索できるページを用意しています。この機会にぜひご利用ください。

